

開催日時	2006年10月4日(水) 10:00~12:45
場 所	京都会館 2階 第1会議室
参加者数	委員7名 河川管理者3名

決定事項 および 検討事項**① 第52回委員会 (10/10) について**

審議資料1「第52回委員会議事次第及び配付資料リスト」を用いて、第52回委員会の議事進行について検討がなされた。

② 平成17年度事業の進捗点検についての少数意見について

審議資料2「平成17年度事業の進捗点検についての少数意見」について検討がなされ、第52回委員会にて少数意見として意見書に付するかどうかを検討することとなった。

③ ダム等の管理に係るフォローアップの検討体制について

審議資料3「ダム等の管理に係わるフォローアップ等委員会開催スケジュール」を参考に、ダム等のフォローアップの検討体制について意見交換がなされた。主な意見と決定事項は以下の通り(例示)。

- ・ダム等のフォローアップの検討体制として、WGをつくった方がよいだろう。WGでは、ダム等のフォローアップだけではなく、事業中のダムについても検討した方がよいと考えている(例:当面実施せずとなった場合は「当面」何をすべきなのか、実施となった場合は実施までの10~15年の間に何をすべきなのか等)。WGで集中的に検討して全体委員会に諮ってはどうかと考えている(委員長)。
- ・ダム毎にWGをつくるのか、1つのWGで全てのダムを審議するのか。
 - ←検討内容の統一性を保つためにもWGは1つにした方がよい。WGで全体の構成を作成した後、各委員で作業を分担するというやり方でよいのではないか。
 - ←ダム等のフォローアップ報告書は、環境・治水・水質という項目毎に出てくるので、項目毎に検討して頂ければと思っている。ダム等のフォローアップ報告書は環境委員会からご意見を頂いた上で提出するので、流域委員会には環境委員会から頂いたご意見もお伝えしたい(河川管理者)。
- ・ダム等のフォローアップWGのリーダーは今本委員とする。リーダーがWGメンバーを選定し、第52回委員会にて正式に発足する。

④ 意見聴取反映WG、水位操作WG、利水・水需要管理部会の検討状況と今後の予定について

審議資料4「意見聴取反映WG10月以降の会議開催予定」、審議資料5-1「第5回利水・水需要管理部会検討会次第(案)」、審議資料5-2「第3回水位操作WG検討会 次第(案)」を参考に、WGと利水・水需要管理部会の検討状況の報告がなされた。

- ・意見聴取反映WGは、第52回委員会にて検討経過の報告を行う。意見書目次案を提出する予定だ。
- ・水位操作WGの意見書では、瀬田川洗堰による水位操作が大半を占めているため、淀川大堰の水位操作に関しては瀬田川洗堰操作による淀川への影響に係わる記述にとどめておいてはどうかと考えている。淀川大堰の水位操作については、検討の時間が必要なため、申し送り事項にしたい。
- ・利水・水需要管理部会は、第52回委員会にて、検討内容の報告を行う。ディスカッションポイントをリストアップした上で説明したい。

⑤ 今後の会議開催日程について: 11月の会議開催スケジュールが下記の通りに決定した。

第78回運営会議	11月9日(木) 10:00~13:00
第5回意見聴取反映WG作業検討会	11月9日(木) 13:30~17:30
現地視察(日吉ダム)	11月10日(金)
第10回住民参加部会・WG合同会議	11月15日(水) 13:30~16:30
現地視察(高山・青蓮寺ダム)	11月16日(木)
現地視察(天ヶ瀬ダム)	11月17日(金)
第7回意見聴取反映WG作業検討会	11月20日(月) 16:00~20:00
第79回運営会議	11月22日(水) 12:00~12:45
第53回委員会	11月22日(水) 13:30~16:30
第8回利水・水需要管理部会	11月23日(木) 13:30~16:30

⑥ その他: 次期流域委員会委員会について意見交換がなされた。主な意見は以下の通り。

- ・次期流域委員会の委員公募がまだはじまっていない。河川管理者には、これまで流域委員会でやってきたことを大事にして欲しい。できるだけ早く河川管理者の方針を示して欲しい(委員長)。

←次期流域委員会の体制については検討中だ。できるだけ早く検討を終えて報告したい(河川管理者)

以上

※結果報告は、委員の皆様に必要な決定事項等の会議結果を迅速にお知らせするため、庶務から発信させていただくものです。